

## 2. 調査結果（単純集計）

### (1) 地震に関すること

#### ■大地震発生時の行動等について

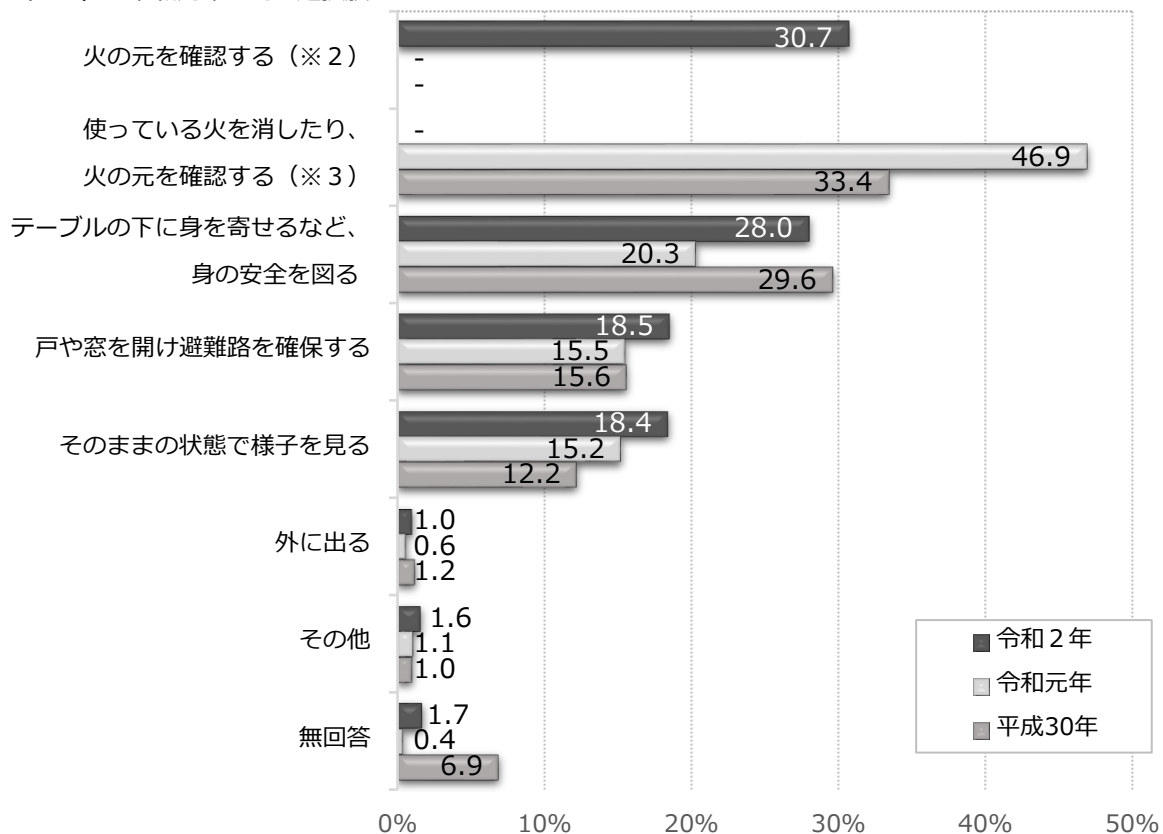
Q1 あなたが家でテレビを見ている時、大きな揺れを感じました。（※1）あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。

	平成30年 (n=1,531)	令和元年 (n=1,448)	令和2年 (n=1,784)
火の元を確認する（※2）	-	-	30.7
使っている火を消したり、火の元を確認する（※3）	33.4	46.9	-
テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る	29.6	20.3	28.0
戸や窓を開け避難路を確保する	15.6	15.5	18.5
そのままの状態様子を見る	12.2	15.2	18.4
外に出る	1.2	0.6	1.0
その他	1.0	1.1	1.6
無回答	6.9	0.4	1.7

（※1）令和元年のみ、「あなたが家にいる時、東京都に非常に大きな揺れがくることを示す緊急地震速報がテレビ、携帯電話、スマートフォンなどから流れました。」

（※2）は令和2年新規の選択肢

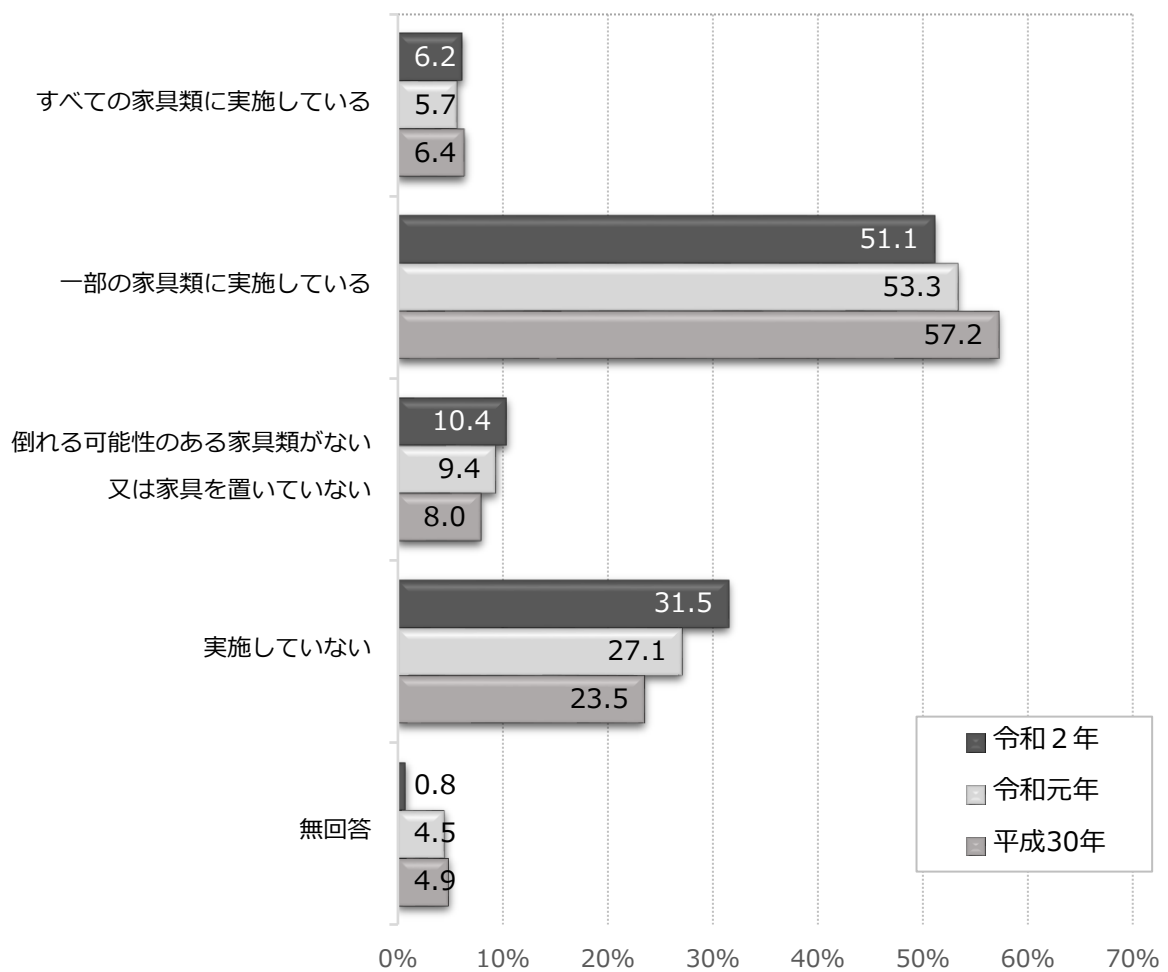
（※3）は令和元年までの選択肢



## ■ 家庭での地震に対する備えについて

Q2 あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

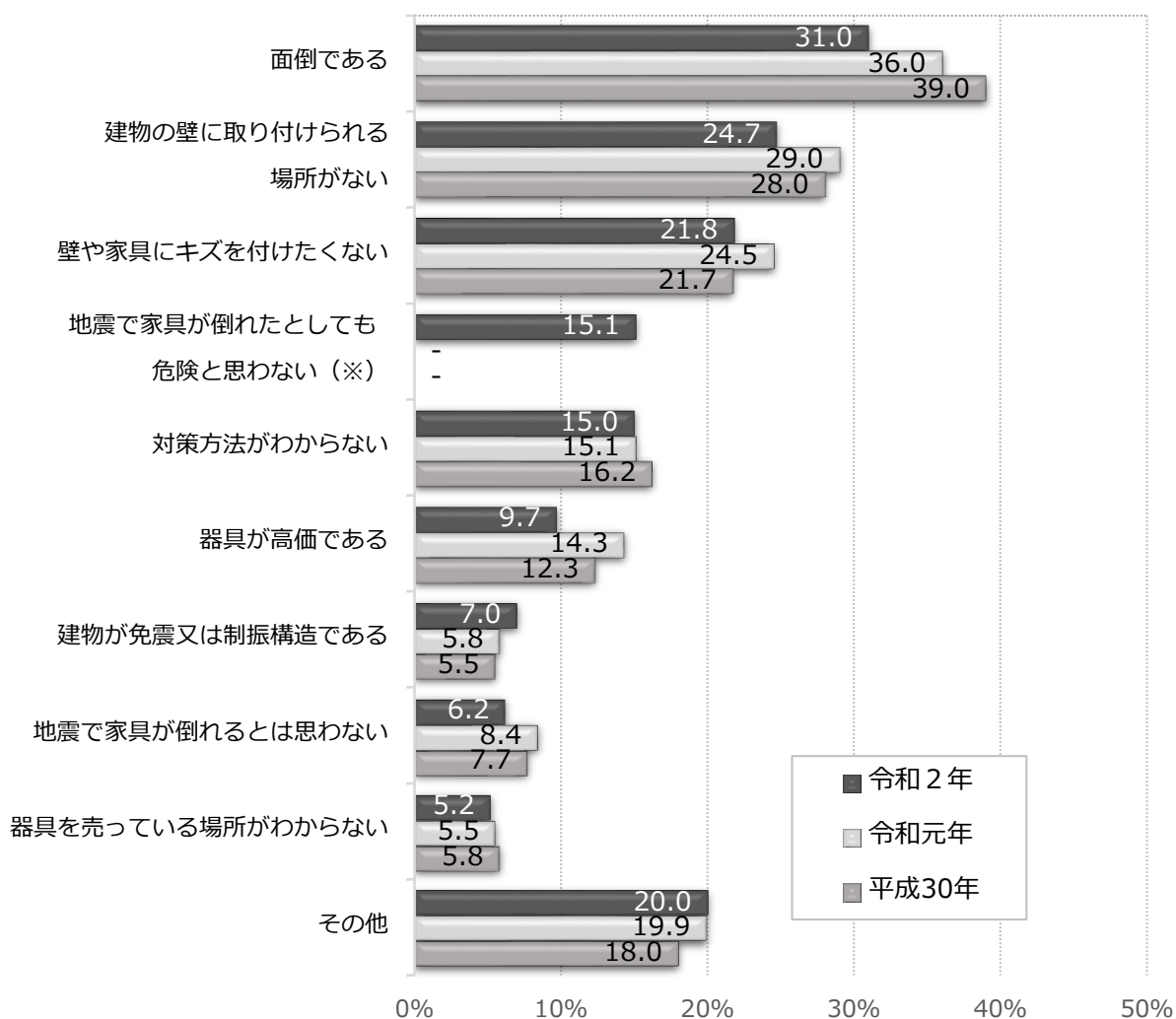
	平成30年 (n=1,531)	令和元年 (n=1,448)	令和2年 (n=1,784)
すべての家具類に実施している	6.4	5.7	6.2
一部の家具類に実施している	57.2	53.3	51.1
倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない	8.0	9.4	10.4
実施していない	23.5	27.1	31.5
無回答	4.9	4.5	0.8



Q3 Q2で「一部の家具類に実施している」又は「実施していない」を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない又は一部にしか実施していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	平成30年 (n=1,204)	令和元年 (n=1,130)	令和2年 (n=1,456)
面倒である	39.0	36.0	31.0
建物の壁に取り付けられる場所がない	28.0	29.0	24.7
壁や家具にキズを付けたくない	21.7	24.5	21.8
地震で家具が倒れたとしても危険と思わない(※)	-	-	15.1
対策方法がわからない	16.2	15.1	15.0
器具が高価である	12.3	14.3	9.7
建物が免震又は制振構造である	5.5	5.8	7.0
地震で家具が倒れるとは思わない	7.7	8.4	6.2
器具を売っている場所がわからない	5.8	5.5	5.2
その他	18.0	19.9	20.0

(※)は令和2年新規の選択肢



## (2) 救急に関すること

### ■今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方について

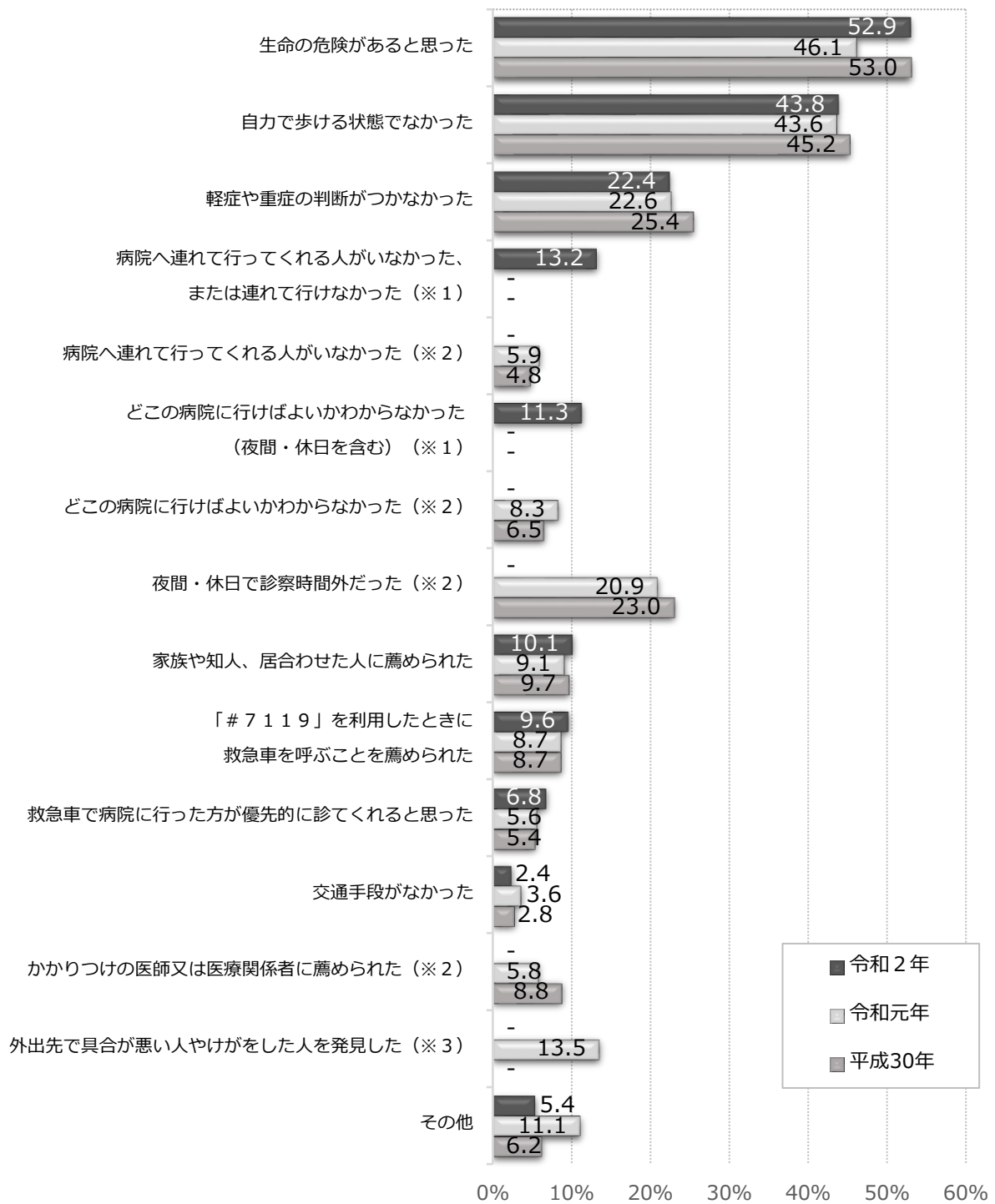
Q4 あなたが、救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	平成30年 (n=826)	令和元年 (n=809)	令和2年 (n=874)
生命の危険があると思った	53.0	46.1	52.9
自力で歩ける状態でなかった	45.2	43.6	43.8
軽症や重症の判断がつかなかった	25.4	22.6	22.4
病院へ連れて行ってくれる人がいなかった、または連れて行けなかった(※1)	-	-	13.2
病院へ連れて行ってくれる人がいなかった(※2)	4.8	5.9	-
どこの病院に行けばよいかわからなかった(夜間・休日を含む)(※1)	-	-	11.3
どこの病院に行けばよいかわからなかった(※2)	6.5	8.3	-
夜間・休日で診察時間外だった(※2)	23.0	20.9	-
家族や知人、居合わせた人に薦められた	9.7	9.1	10.1
「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを薦められた	8.7	8.7	9.6
救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った	5.4	5.6	6.8
交通手段がなかった	2.8	3.6	2.4
かかりつけの医師又は医療関係者に薦められた(※2)	8.8	5.8	-
外出先で具合が悪い人やけがをした人を発見した(※3)	-	13.5	-
その他	6.2	11.1	5.4

(※1) は令和2年新規の選択肢

(※2) は令和元年までの選択肢

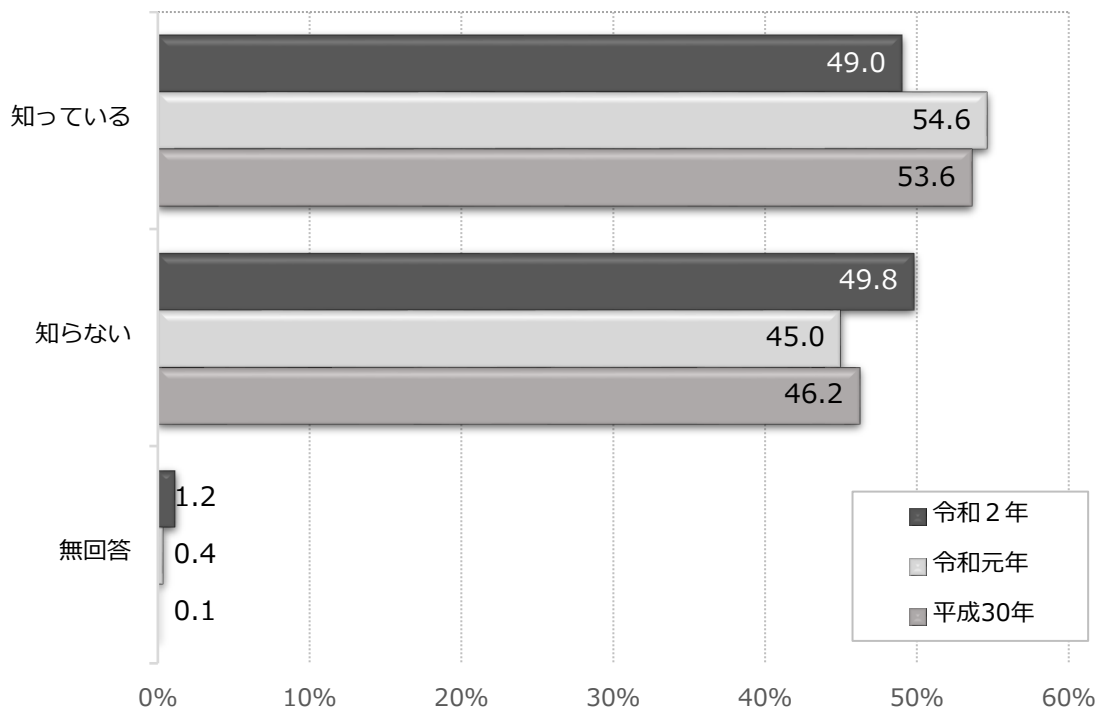
(※3) は令和元年のみの選択肢



■「東京消防庁救急相談センター」及び「東京版救急受診ガイド」に関することについて

Q5 「病院へ行くか、救急車を呼ぶか」迷った時に電話やインターネットから相談できる「#7119<sup>※</sup>」を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

	平成30年 (n=1,531)	令和元年 (n=1,448)	令和2年 (n=1,784)
知っている	53.6	54.6	49.0
知らない	46.2	45.0	49.8
無回答	0.1	0.4	1.2



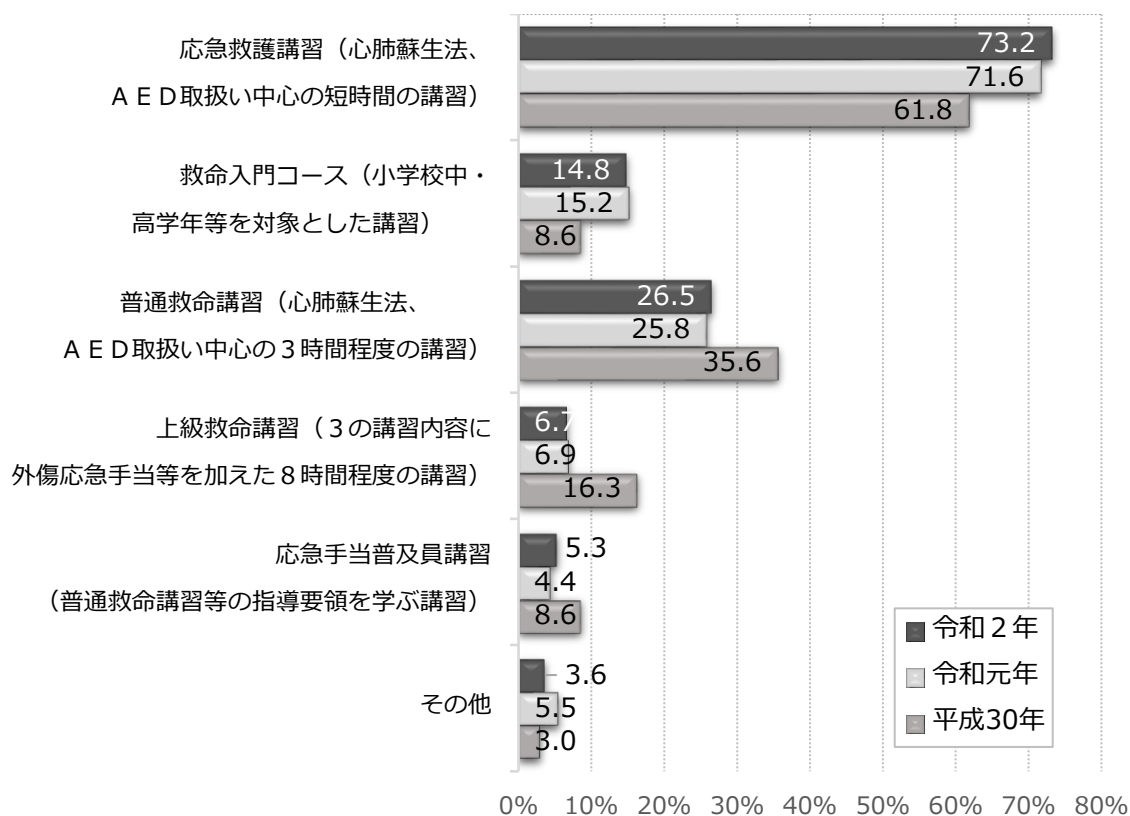
※「#7119」とは、電話で症状の緊急性について相談できる「東京消防庁救急相談センター」とインターネットや冊子により自身で症状の緊急性や受診科目などを確認できる「東京消防庁救急受診ガイド」を総称したものです。

## ■ 応急手当について

Q 6 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	平成 30 年 (n=233)	令和元年 (n=613)	令和 2 年 (※) (n=831)	令和 2 年 (n=1,775)
応急救護講習 (心肺蘇生法、A E D 取扱い 中心の短時間の講習)	61.8	71.6	73.2	34.3
救命入門コース (小学校中・高学年等を対 象とした講習)	8.6	15.2	14.8	6.9
普通救命講習 (心肺蘇生法、A E D 取扱い 中心の 3 時間程度の講習)	35.6	25.8	26.5	12.4
上級救命講習 (3 の講習内容に外傷応急手 当等を加えた 8 時間程度の講習)	16.3	6.9	6.7	3.2
応急手当普及員講習 (普通救命講習等の指 導要領を学ぶ講習)	8.6	4.4	5.3	2.5
受けたことがない (※)	-	-	-	52.7
その他	3.0	5.5	3.6	1.7

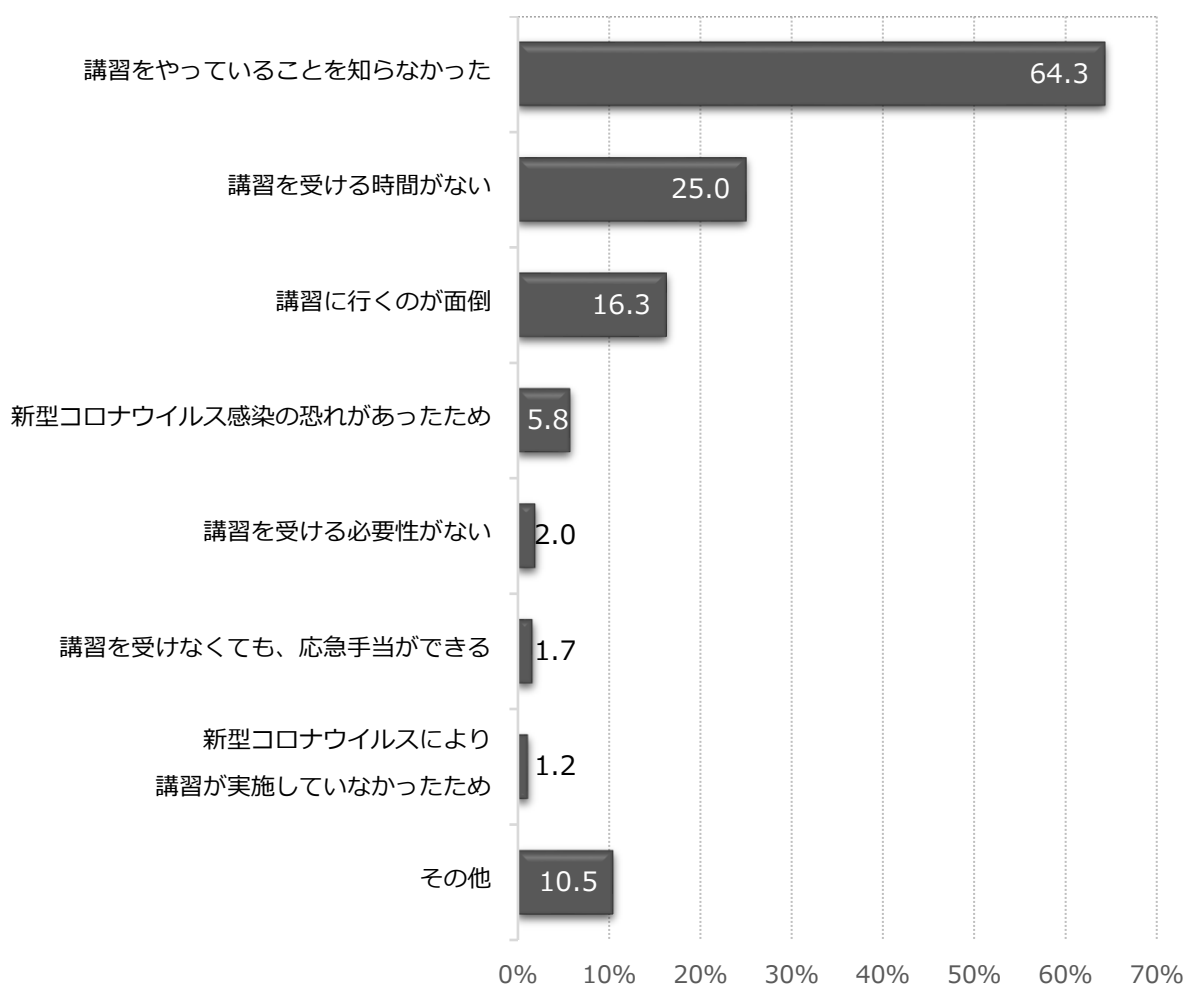
(※) 令和 2 年より、選択肢「受けたことがない」を追加。経年比較のため、「受けたことがない」を回答したサンプルを外して集計したのも掲載



Q7 Q6で「受けたことがない」を選んだ方にお聞きします。救命講習を受けない理由を次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

※令和2年新規の設問

	令和2年 (n=928)
講習をやっていることを知らなかった	64.3
講習を受ける時間がない	25.0
講習に行くのが面倒	16.3
新型コロナウイルス感染の恐れがあったため	5.8
講習を受ける必要性がない	2.0
講習を受けなくても、応急手当ができる	1.7
新型コロナウイルスにより講習が実施していなかったため	1.2
その他	10.5



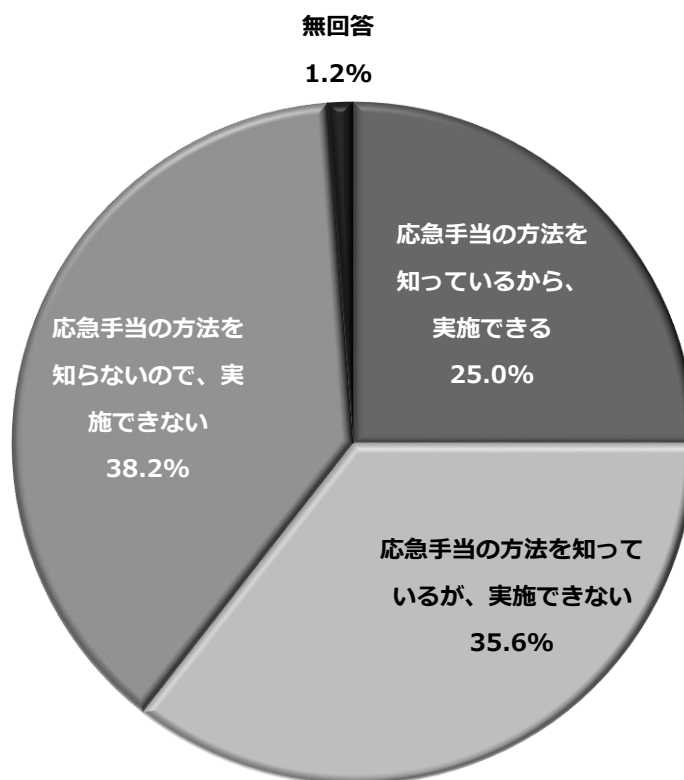


**Q 8** あなたの周りの人が急病やけがで心肺停止となり、応急手当が必要となった時、あなたは応急手当のいずれかができますか。次の中から1つだけ選んでください。なお、ここでいう応急手当とは胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、A E D（自動体外式除細動器）のことを指します。

※令和2年新規の設問

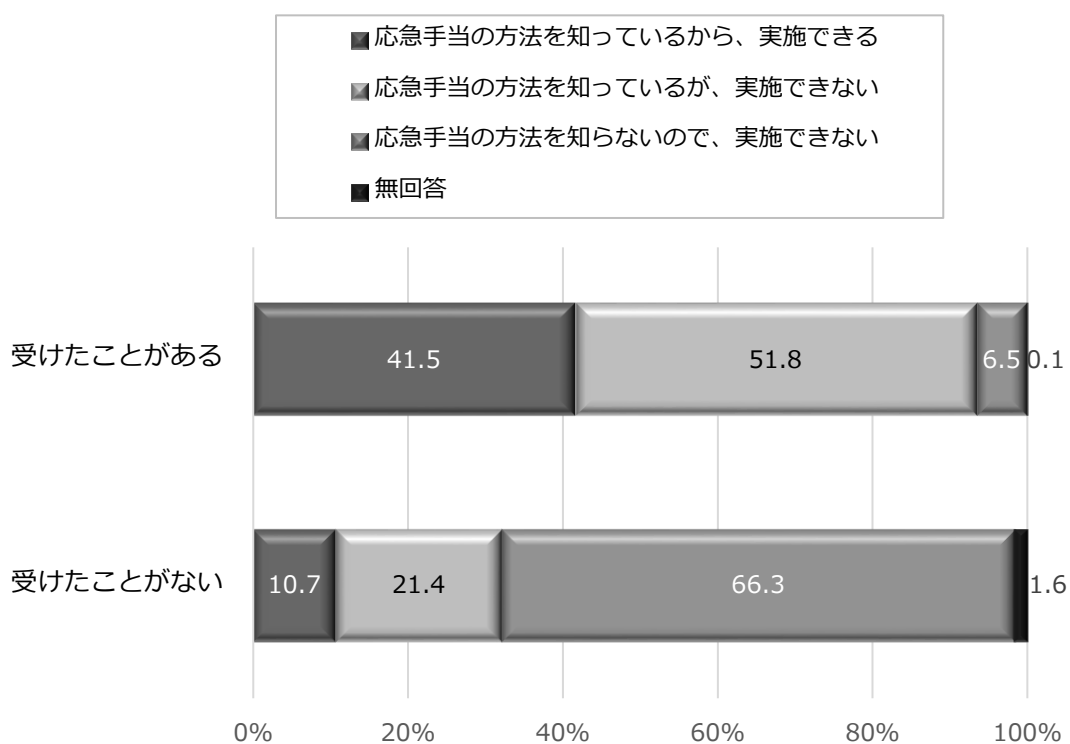
※前年までは「あなたの周りの人が急病やけがをしたとき、あなたにできる応急手当を、次の中からいくつでも選んでください」という設問であった。選択肢にあつては、「声をかけるなど励ます」、「毛布をかけるなどして保温する」や「何もしない」などであった。

	令和2年 (n=1,784)
応急手当の方法を知っているから、実施できる	25.0
応急手当の方法を知っているが、実施できない	35.6
応急手当の方法を知らないなので、実施できない	38.2
無回答	1.2



【参考：応急手当講習の受講有無（Q6）毎の集計】

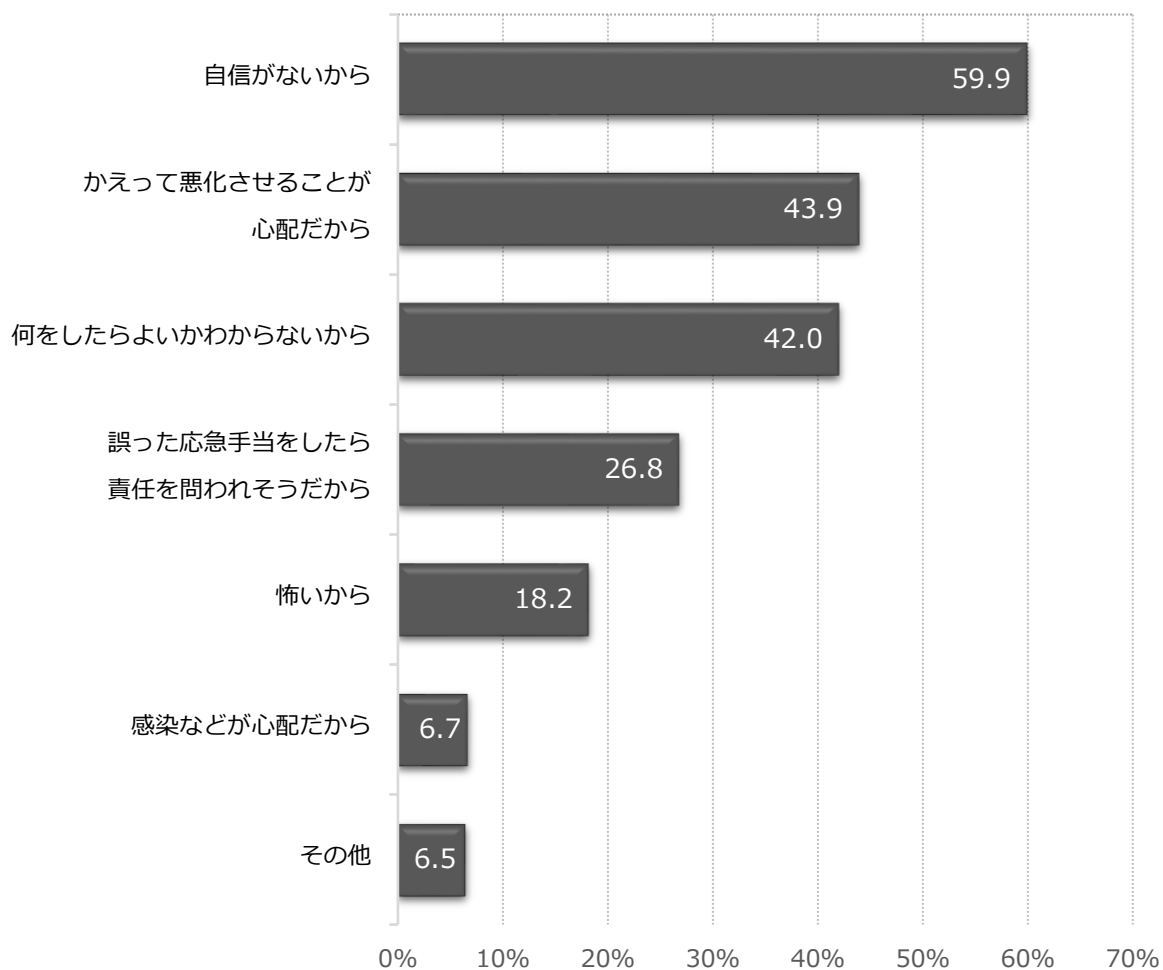
	受けたことがある (n=814) ※ 無回答 1 件	受けたことがない (n=935) ※ 無回答 15 件
応急手当の方法を知っているから、実施できる	41.5	10.7
応急手当の方法を知っているが、実施できない	51.8	21.4
応急手当の方法を知らないなので、実施できない	6.5	66.3
無回答	0.1	1.6



Q9 Q8で「応急手当の方法を知っているが、実施できない」又は「応急手当の方法を知らないので、実施できない」を選んだ方にお聞きします。あなたが、応急手当をできない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

※令和2年新規の設問

	令和2年 (n=1,311)
自信がないから	59.9
かえって悪化させることが心配だから	43.9
何をしたらよいかわからないから	42.0
誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから	26.8
怖いから	18.2
感染などが心配だから	6.7
その他	6.5



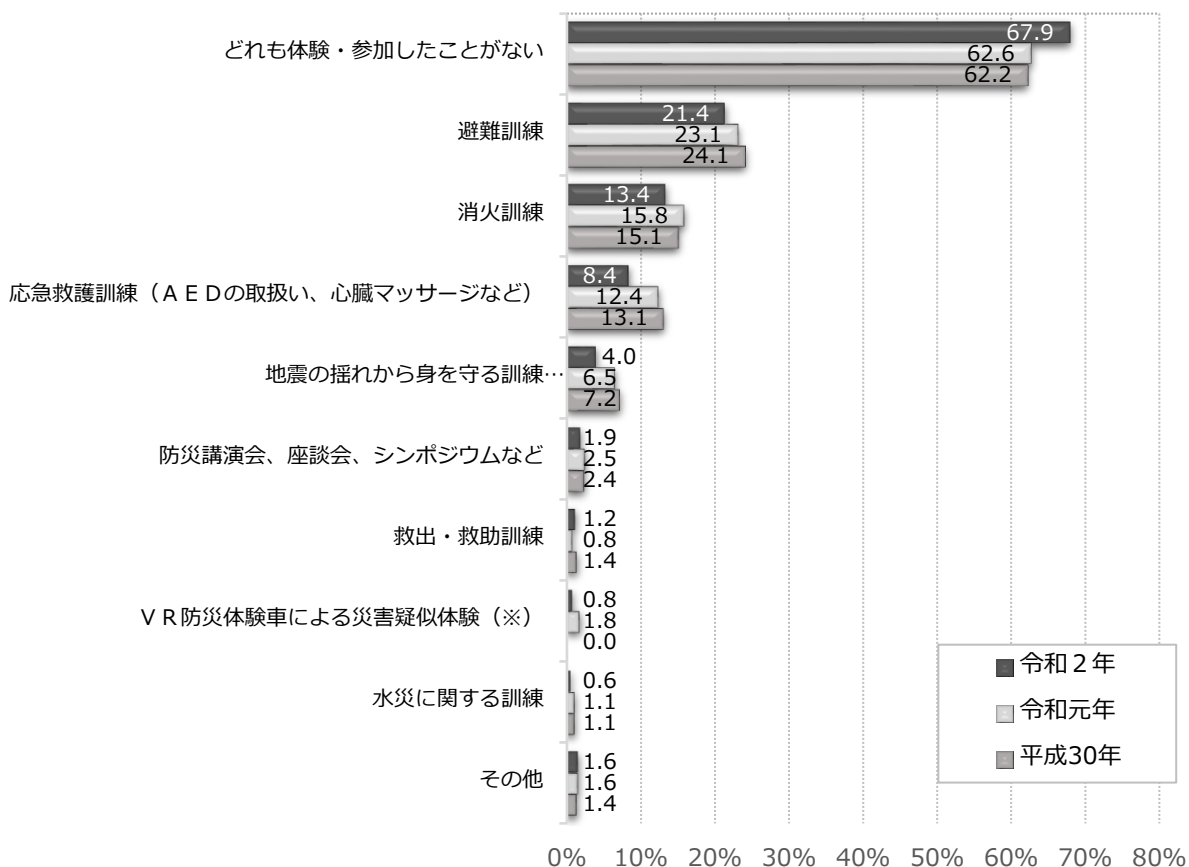
### (3) 防災に関すること

#### ■ 防火防災訓練などについて

Q10 あなたが最近1年間で参加したことがある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベントなど  
はありますか。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	平成30年 (n=1,521)	令和元年 (n=1,418)	令和2年 (n=1,772)
どれも体験・参加したことがない	62.2	62.6	67.9
避難訓練	24.1	23.1	21.4
消火訓練	15.1	15.8	13.4
応急救護訓練（AEDの取扱い、心臓マッサージなど）	13.1	12.4	8.4
地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など）	7.2	6.5	4.0
防災講演会、座談会、シンポジウムなど	2.4	2.5	1.9
救出・救助訓練	1.4	0.8	1.2
VR防災体験車による災害疑似体験（※）	-	1.8	0.8
水災に関する訓練	1.1	1.1	0.6
その他	1.4	1.6	1.6

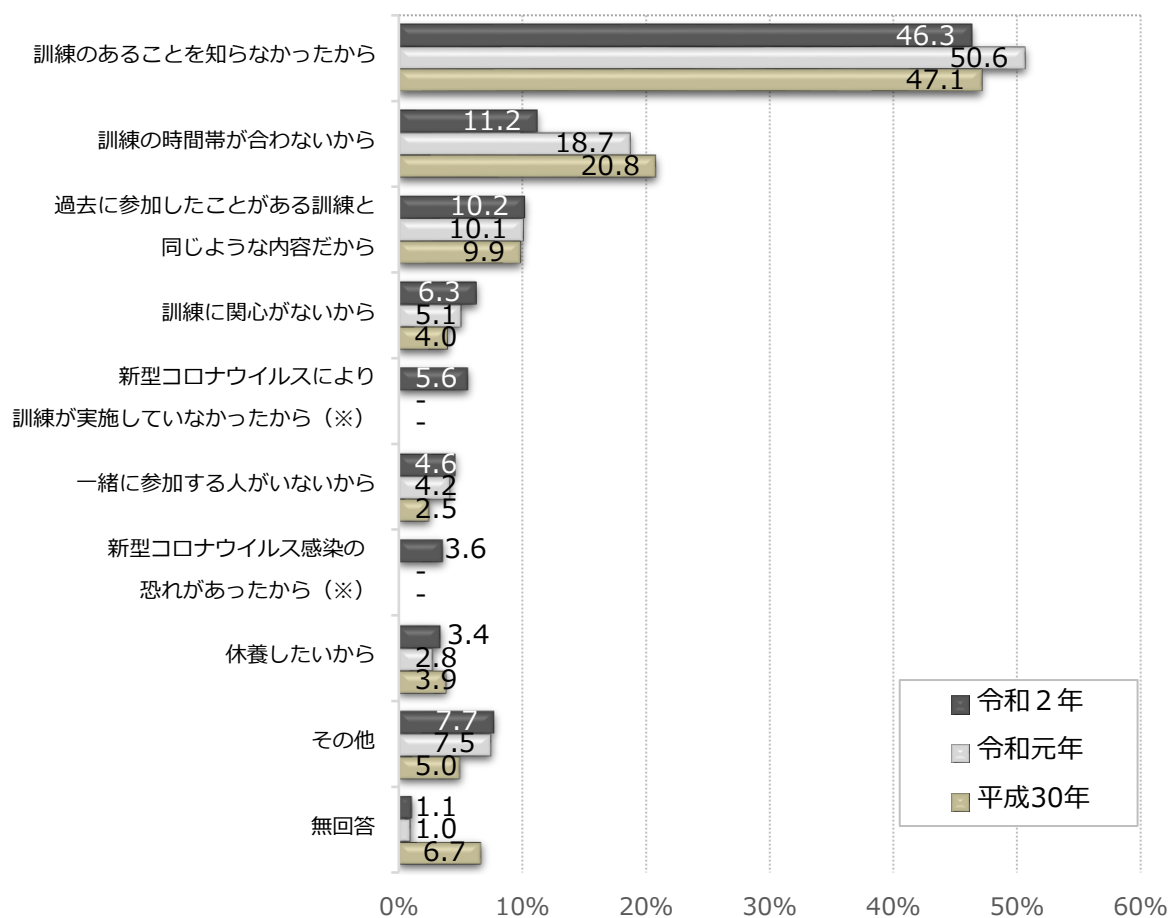
（※）は令和元年からの選択肢



Q11 Q10で「どれも体験・参加したことがない」を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

	平成30年 (n=946)	令和元年 (n=888)	令和2年 (n=1,204)
訓練のあることを知らなかったから	47.1	50.6	46.3
訓練の時間帯が合わないから	20.8	18.7	11.2
過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから	9.9	10.1	10.2
訓練に関心がないから	4.0	5.1	6.3
新型コロナウイルスにより訓練が実施していなかったから(※)	-	-	5.6
一緒に参加する人がいないから	2.5	4.2	4.6
新型コロナウイルス感染の恐れがあったから(※)	-	-	3.6
休養したいから	3.9	2.8	3.4
その他	5.0	7.5	7.7
無回答	6.7	1.0	1.1

(※)は令和2年新規の選択肢



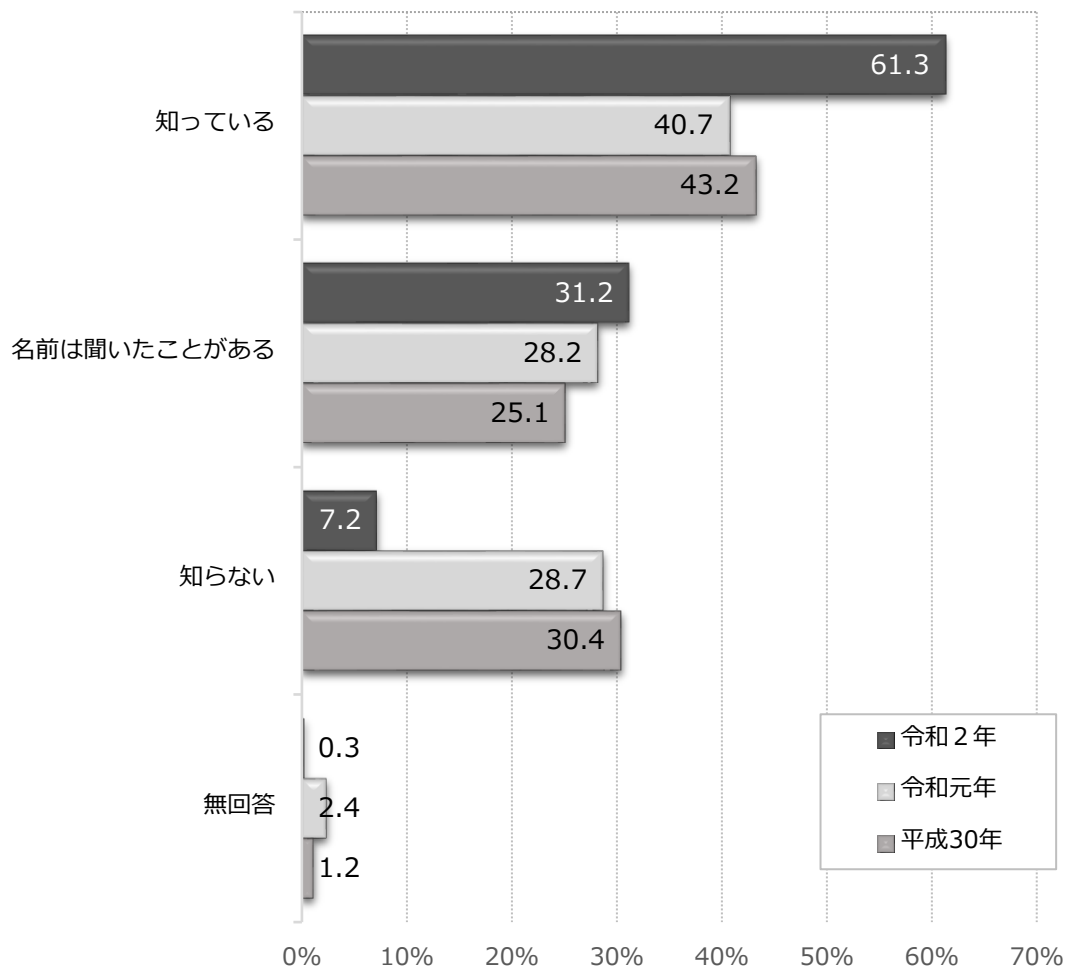
#### (4) 消防団に関すること

##### ■ 消防団について

Q12 消防団を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ 消防団は様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

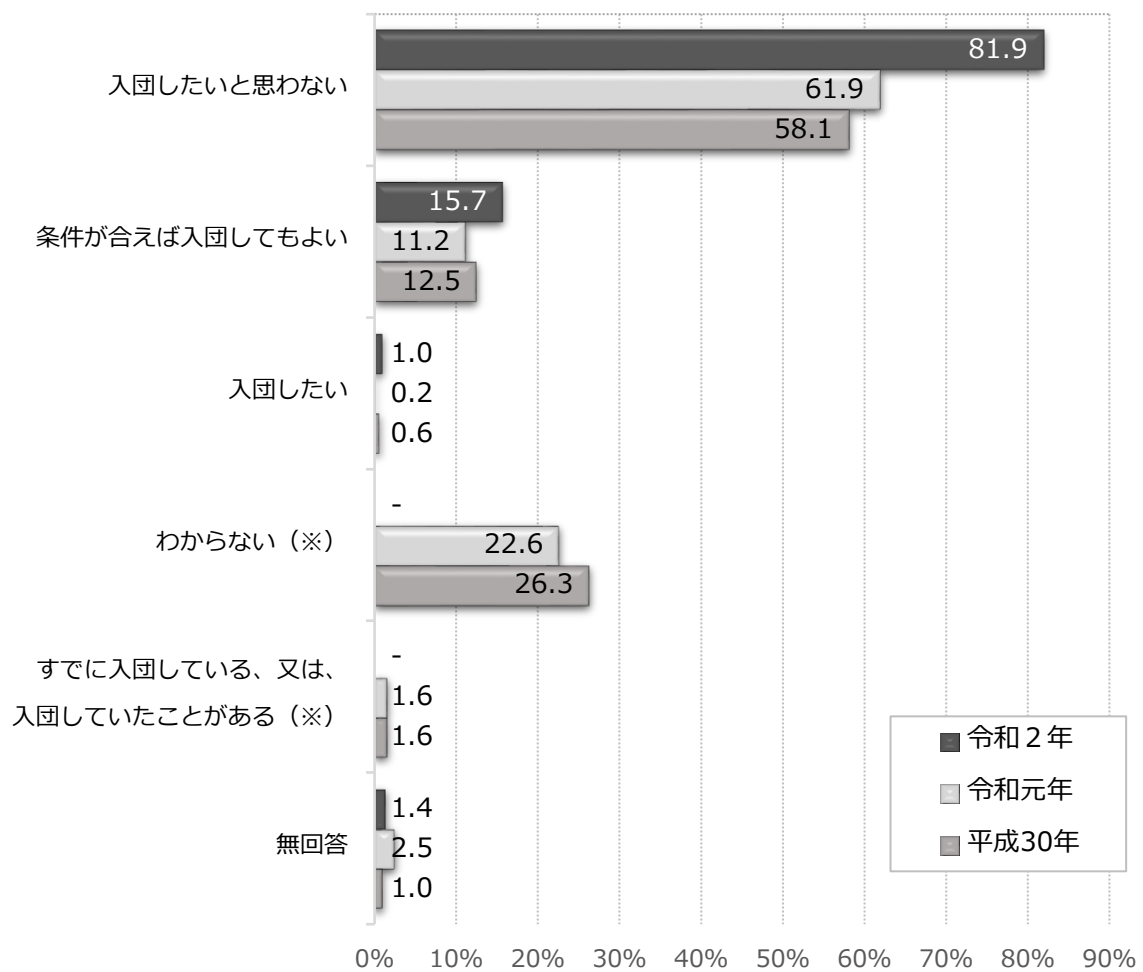
	平成 30 年 (n=1,521)	令和元年 (n=1,448)	令和 2 年 (n=1,784)
知っている	43.2	40.7	61.3
名前は聞いたことがある	25.1	28.2	31.2
知らない	30.4	28.7	7.2
無回答	1.2	2.4	0.3



**Q13** Q12で「知っている」又は「名前は聞いたことがある」を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

カテゴリー名	平成30年 (n=1,047)	令和元年 (n=998)	令和2年 (n=1,650)
入団したいと思わない	58.1	61.9	81.9
条件が合えば入団してもよい	12.5	11.2	15.7
入団したい	0.6	0.2	1.0
わからない(※)	26.3	22.6	-
すでに入団している、又は、入団していたことがある(※)	1.6	1.6	-
無回答	1.0	2.5	1.4

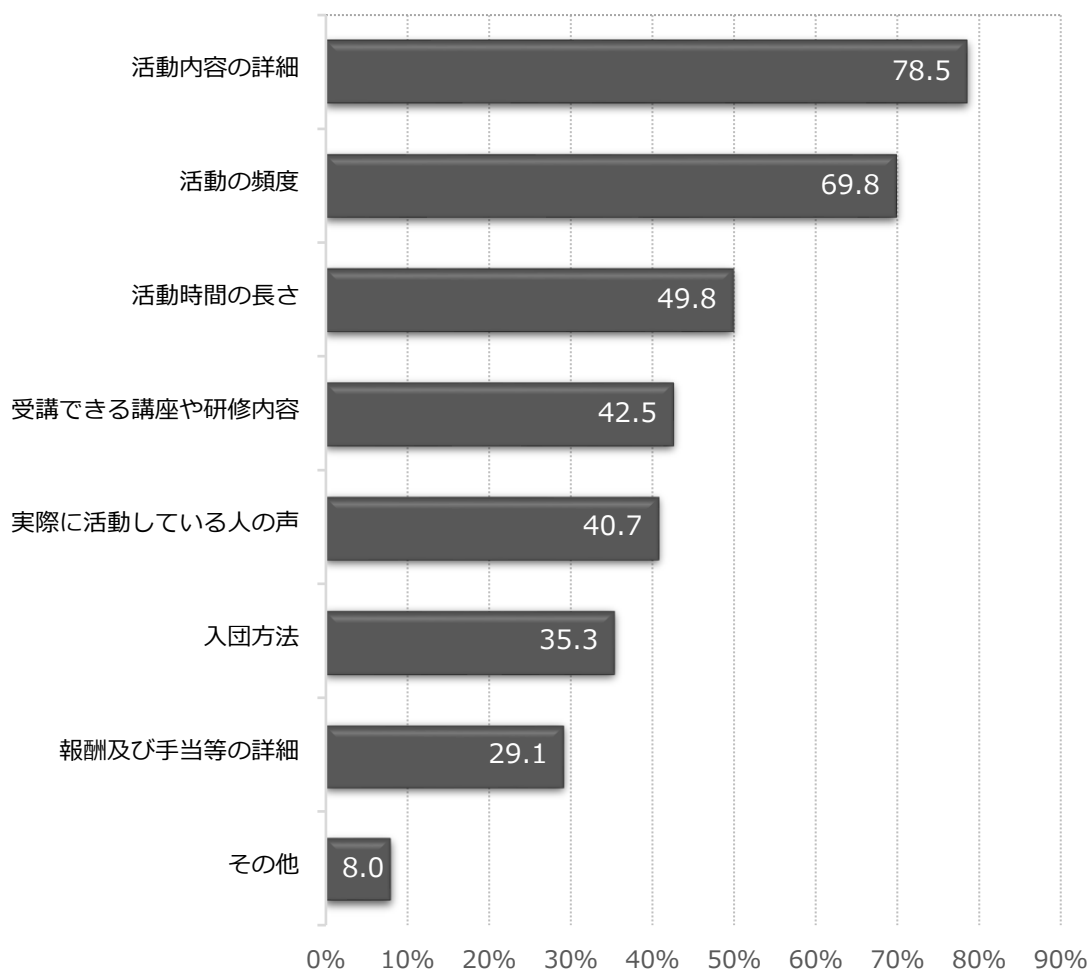
(※)は令和元年までの選択肢



Q14 Q13 で「入団したい」又は「条件が合えば入団してもよい」を選んだ方にお聞きします。あなたが入団を検討するとしたら、消防団について必要な情報は何か。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

※令和2年新規の設問

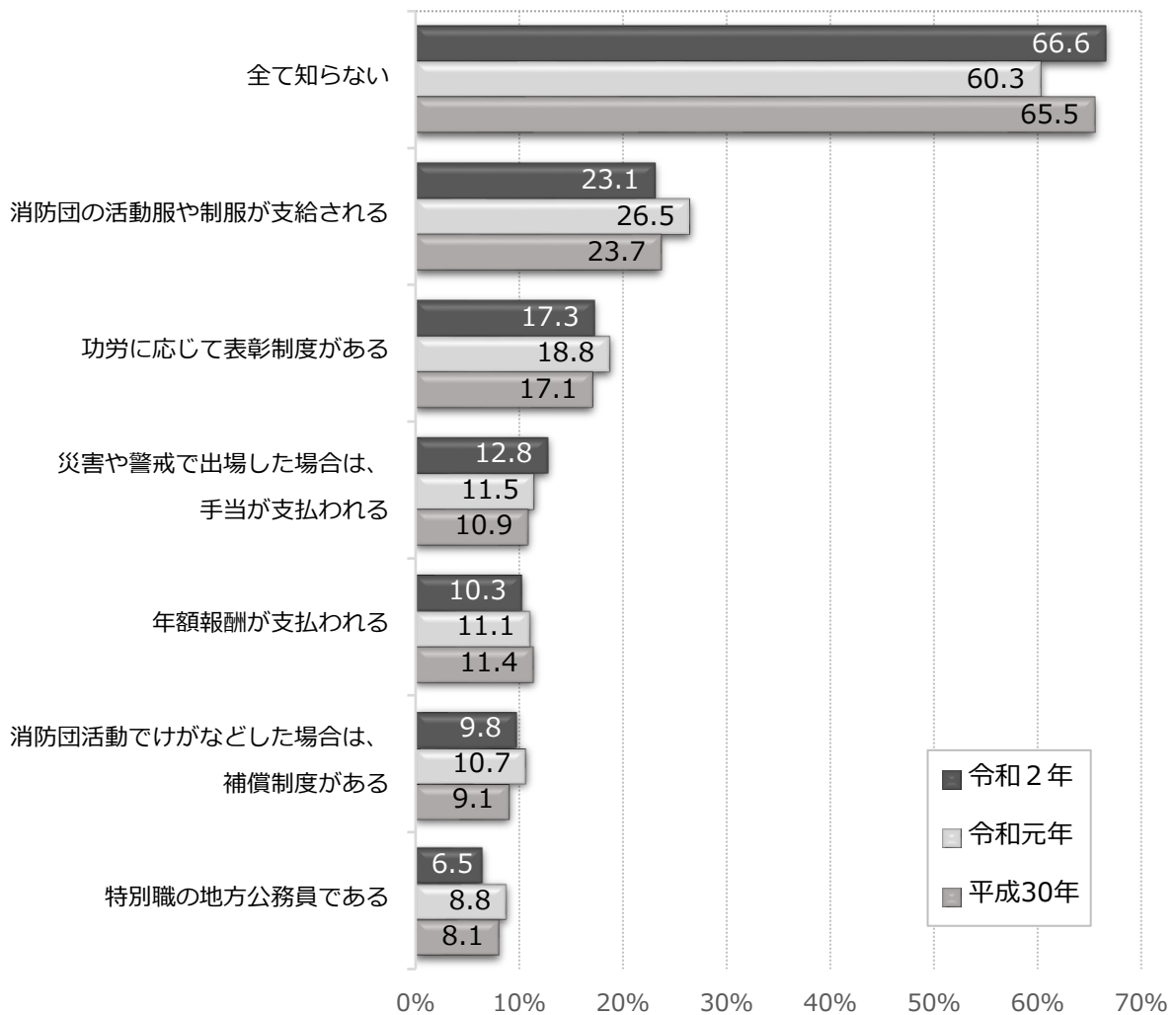
	令和2年 (n=275)
活動内容の詳細	78.5
活動の頻度	69.8
活動時間の長さ	49.8
受講できる講座や研修内容	42.5
実際に活動している人の声	40.7
入団方法	35.3
報酬及び手当等の詳細	29.1
その他	8.0





Q15 次の内容は消防団員の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	平成 30 年 (n=1,501)	令和元年 (n=968)	令和 2 年 (n=1,761)
全て知らない	65.5	60.3	66.6
消防団の活動服や制服が支給される	23.7	26.5	23.1
功労に応じて表彰制度がある	17.1	18.8	17.3
災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる	10.9	11.5	12.8
年額報酬が支払われる	11.4	11.1	10.3
消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある	9.1	10.7	9.8
特別職の地方公務員である	8.1	8.8	6.5

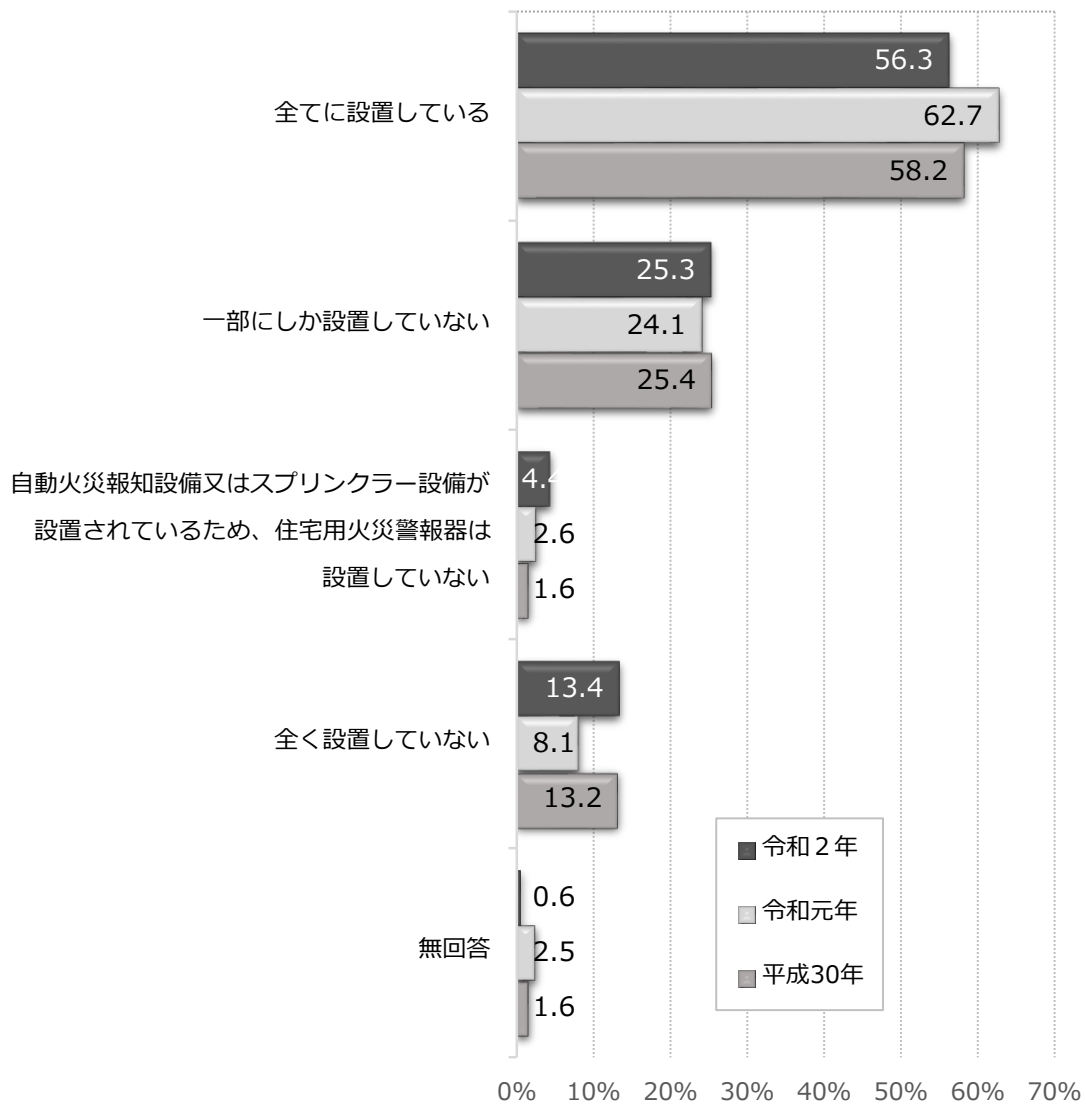


## (5) 火災予防に関すること

### ■住宅用火災警報器について

Q16 お住まいの住宅用火災警報器の設置状況を、次の中から1つだけ選んでください。

	平成30年 (n=1,531)	令和元年 (n=1,448)	令和2年 (n=1,784)
全てに設置している	58.2	62.7	56.3
一部にしか設置していない	25.4	24.1	25.3
自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない	1.6	2.6	4.4
全く設置していない	13.2	8.1	13.4
無回答	1.6	2.5	0.6

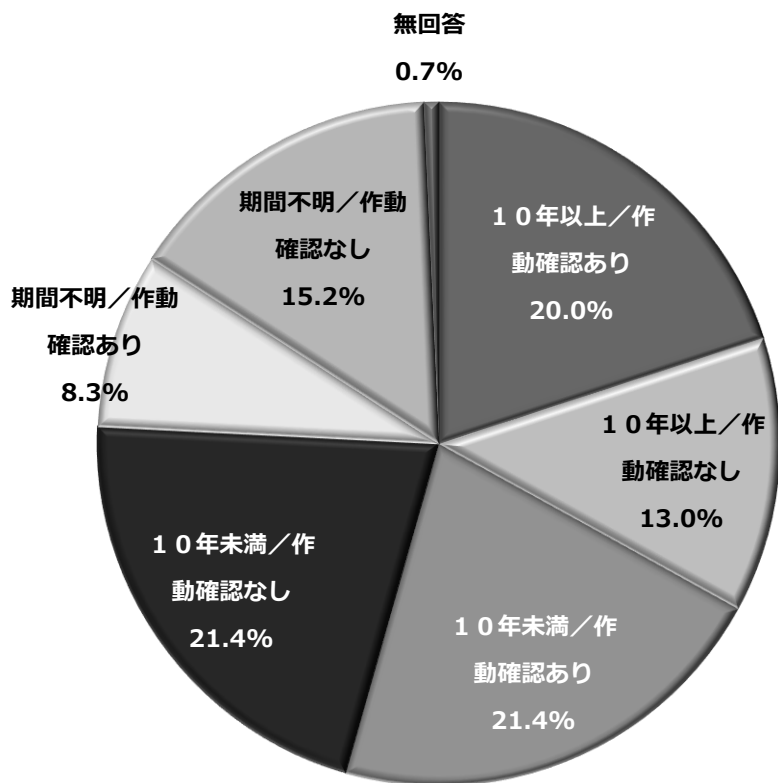


**Q17** あなたはこれまでお住まいの住宅用火災警報器の作動確認※を実施したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。(Q16で「全てに設置している」又は「一部にしか設置していない」方が対象)

※作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押したり、ひもを引くことによって、住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することを言います。

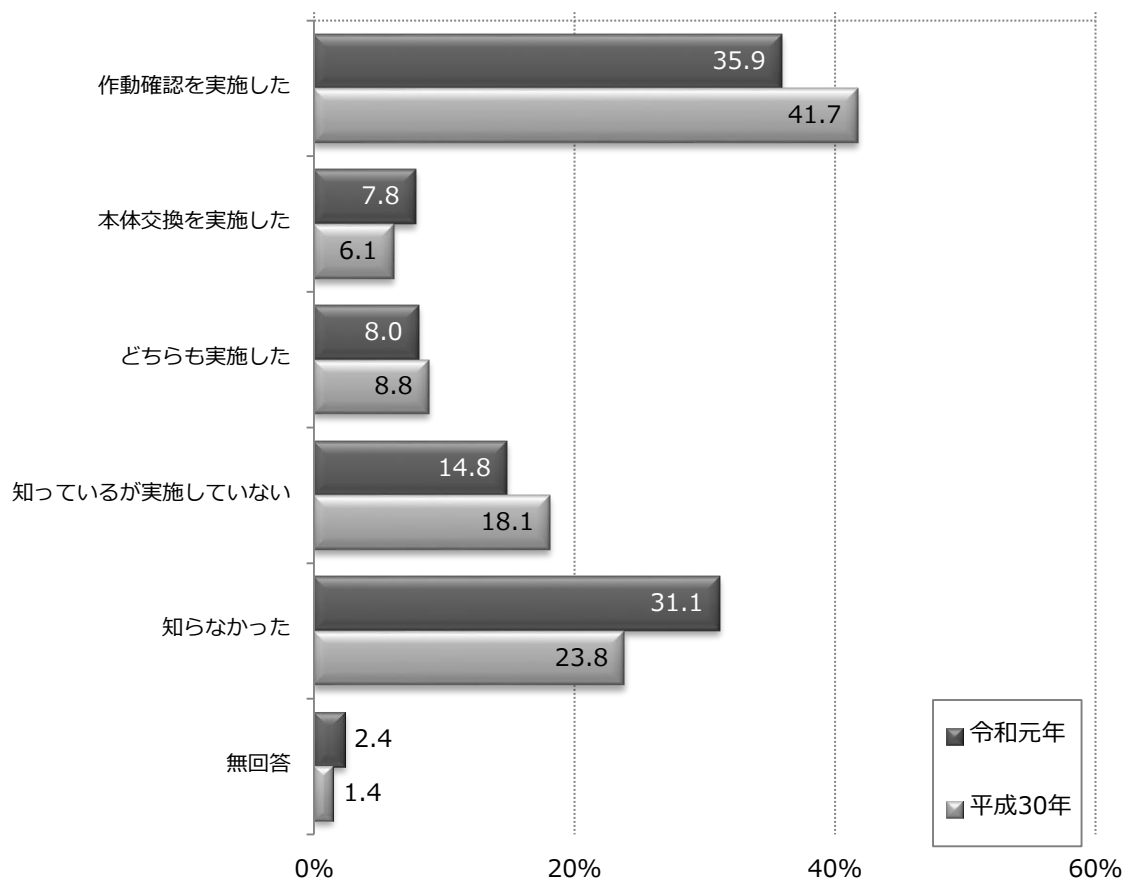
※令和2年より聴取方法変更

	令和2年 (n=1,456)
設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがある。	20.0
設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがない。	13.0
設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがある。	21.4
設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがない。	21.4
設置した時期は分からない。作動確認をしたことがある。	8.3
設置した時期は分からない。作動確認をしたことがない。	15.2
無回答	0.7



【参考：令和元年までの結果】

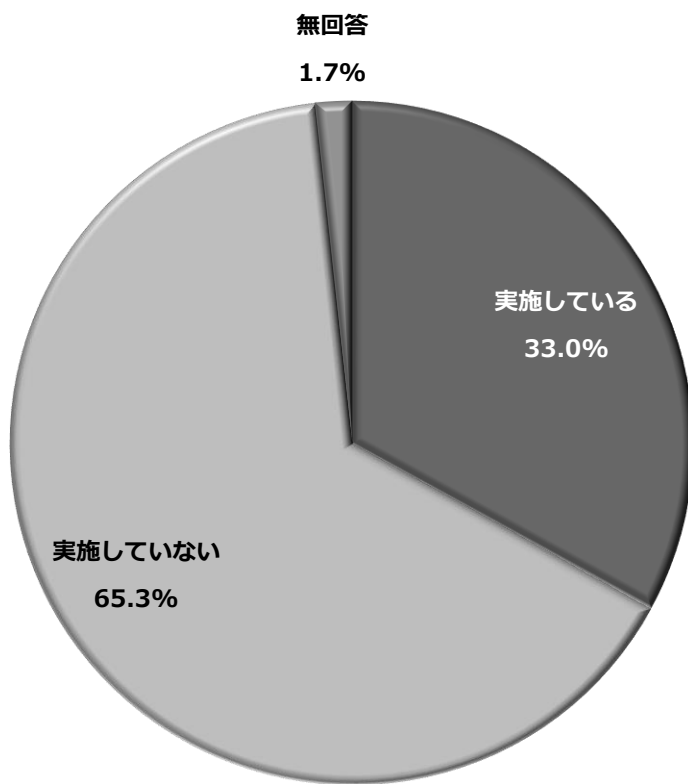
	平成 30 年 (n=1,280)	令和元年 (n=1,257)
作動確認を実施した	41.7	35.9
本体交換を実施した	6.1	7.8
どちらも実施した	8.8	8.0
知っているが実施していない	18.1	14.8
知らなかった	23.8	31.1
無回答	1.4	2.4



**Q18** 住宅用火災警報器の本体交換※の実施状況について、次の中から1つだけ選んでください。（Q16で「全てに設置している」又は「一部にしか設置していない」方が対象）  
 ※住宅用火災警報器は設置から10年が経過している場合は本体交換を推奨しています。また、正常に作動しているか定期的な点検をすることも大切です。

※令和2年新規の設問

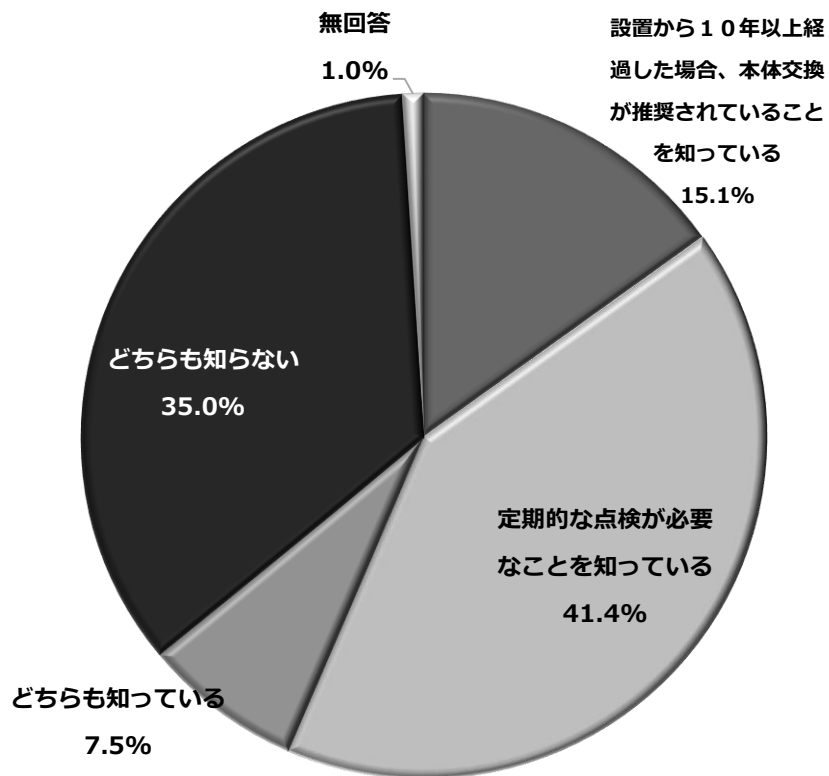
	令和2年 (n=1,456)
実施している	33.0
実施していない	65.3
無回答	1.7



Q19 住宅用火災警報器の本体交換や定期的な点検について知っていますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

※令和2年新規の設問

	令和2年 (n=1,784)
設置から10年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている	15.1
定期的な点検が必要なことを知っている	41.4
どちらも知っている	7.5
どちらも知らない	35.0
無回答	1.0

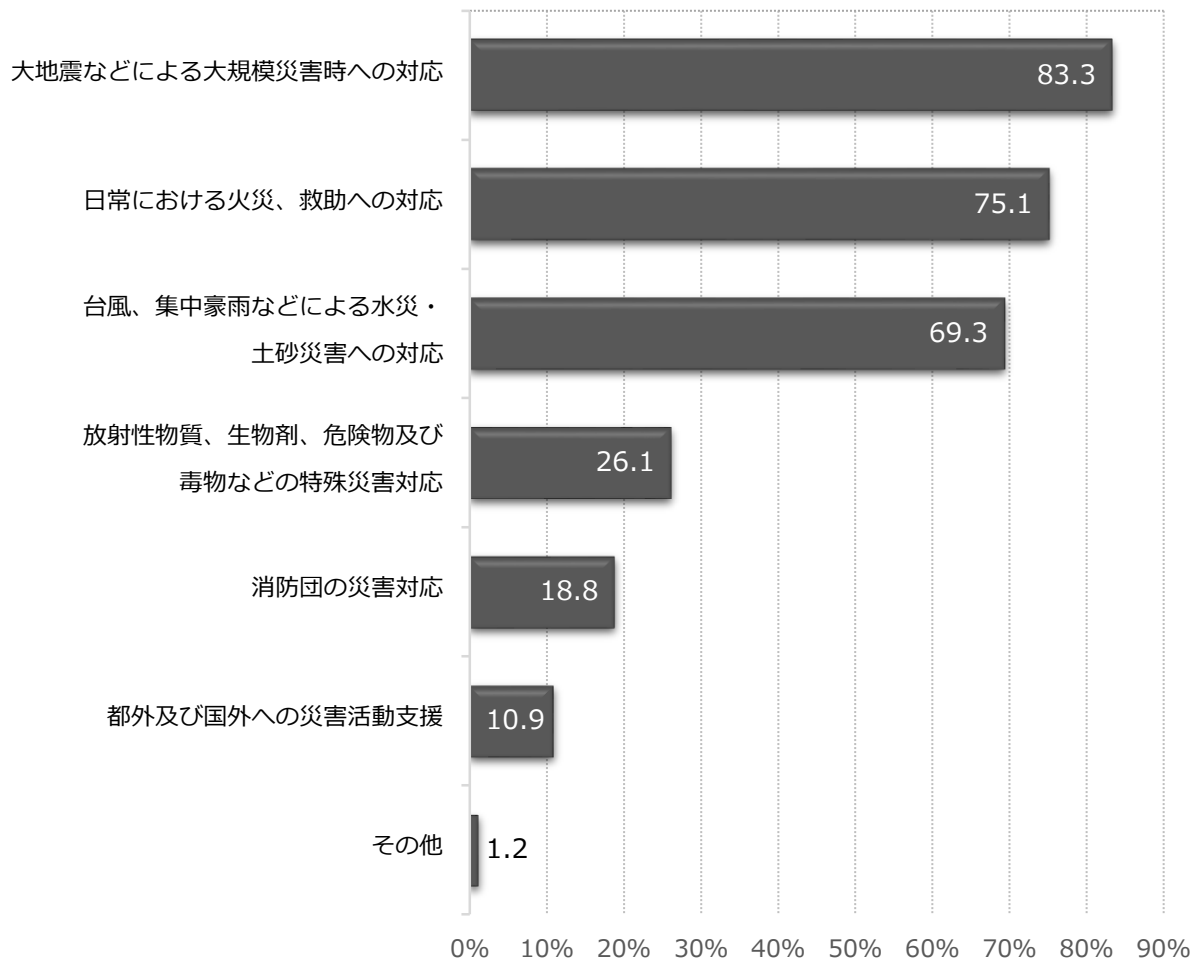


## (6) 消防に対する要望

Q20 東京消防庁に特に力を入れてほしいと思う取組を、下記AからDの分野について、それぞれいくつでも選んでください。

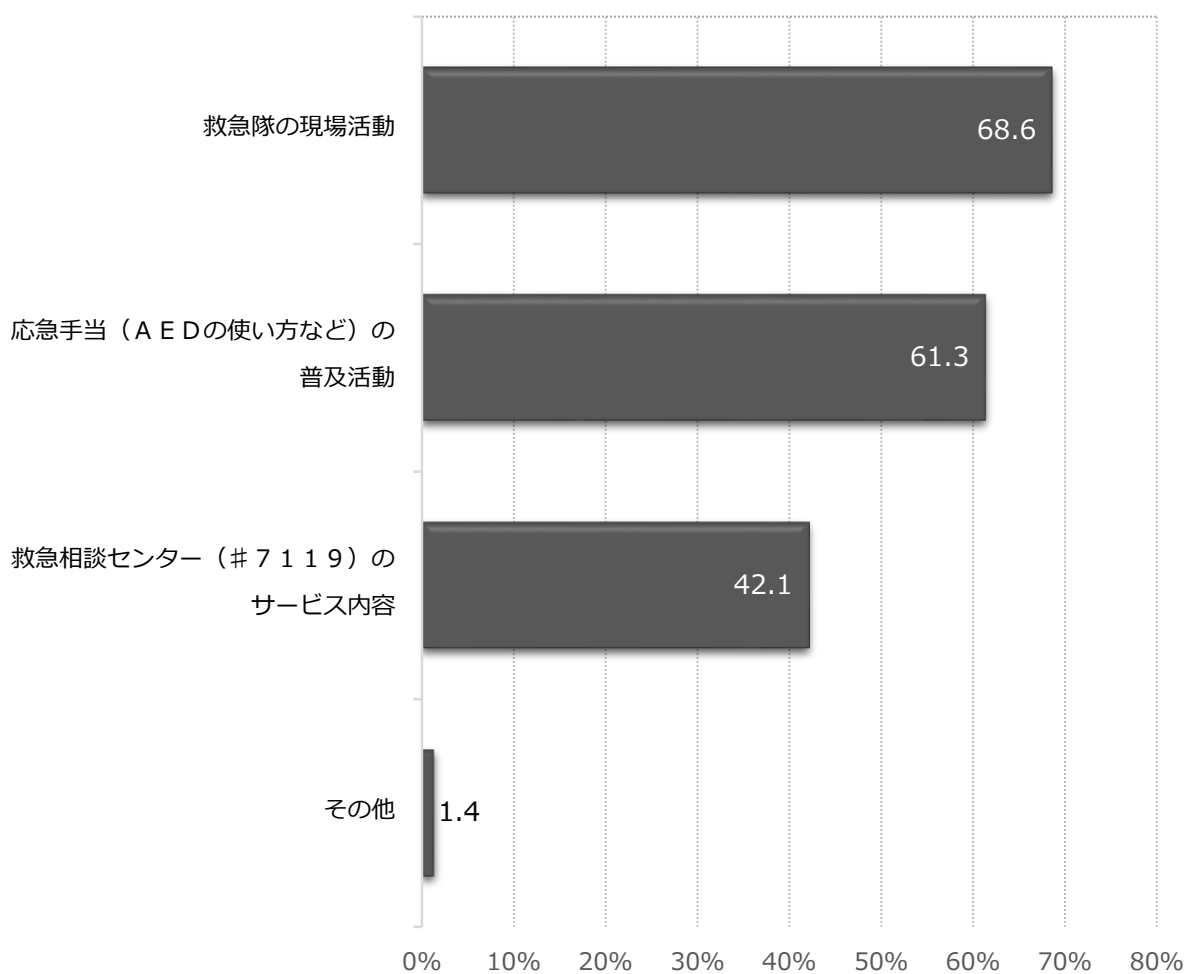
### A 東京消防庁の火災などの災害に関する取組

	令和2年 (n=1,685)
大地震などによる大規模災害時への対応	83.3
日常における火災、救助への対応	75.1
台風、集中豪雨などによる水災・土砂災害への対応	69.3
放射性物質、生物剤、危険物及び毒物などの特殊災害対応	26.1
消防団の災害対応	18.8
都外及び国外への災害活動支援	10.9
その他	1.2



B 東京消防庁の救急業務に関する取組

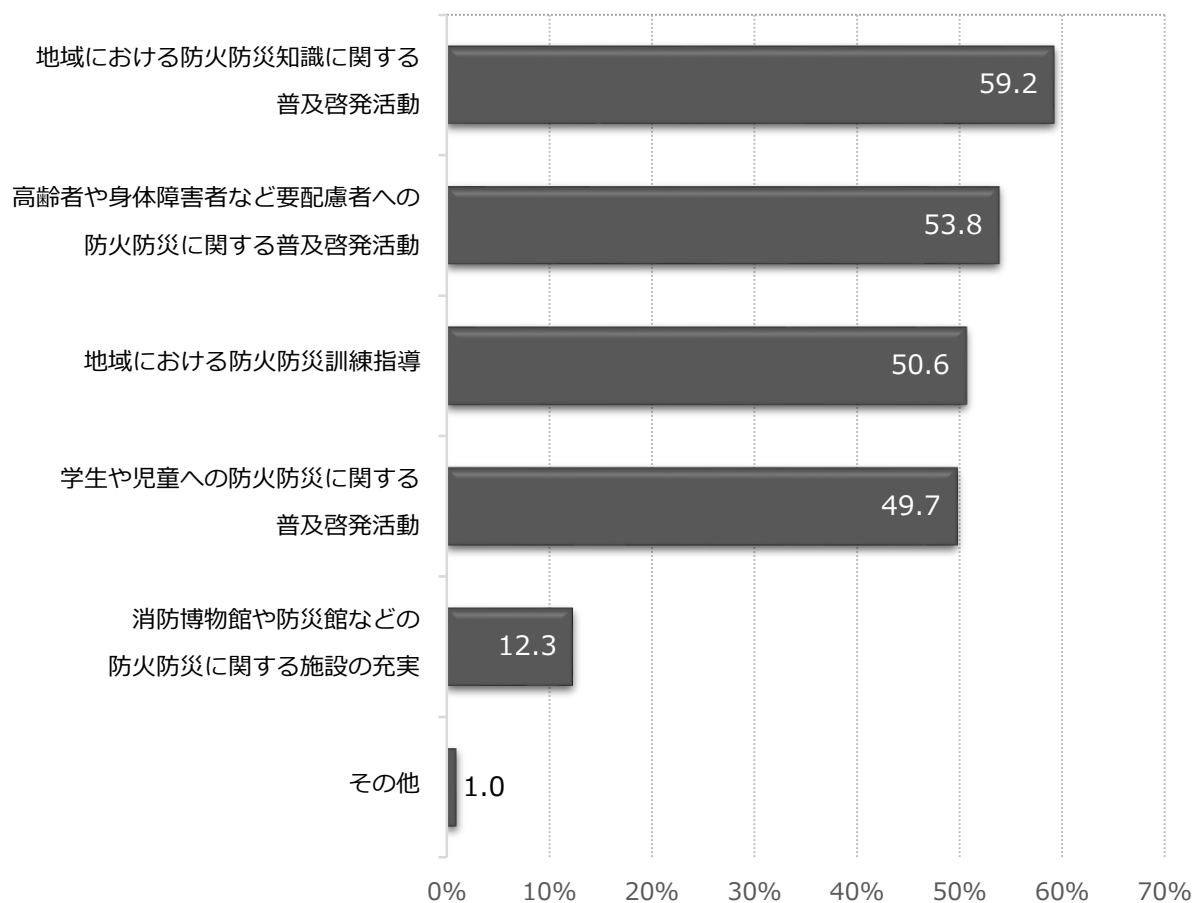
	令和2年 (n=1,665)
救急隊の現場活動	68.6
応急手当（AEDの使い方など）の普及活動	61.3
救急相談センター（#7119）のサービス内容	42.1
その他	1.4





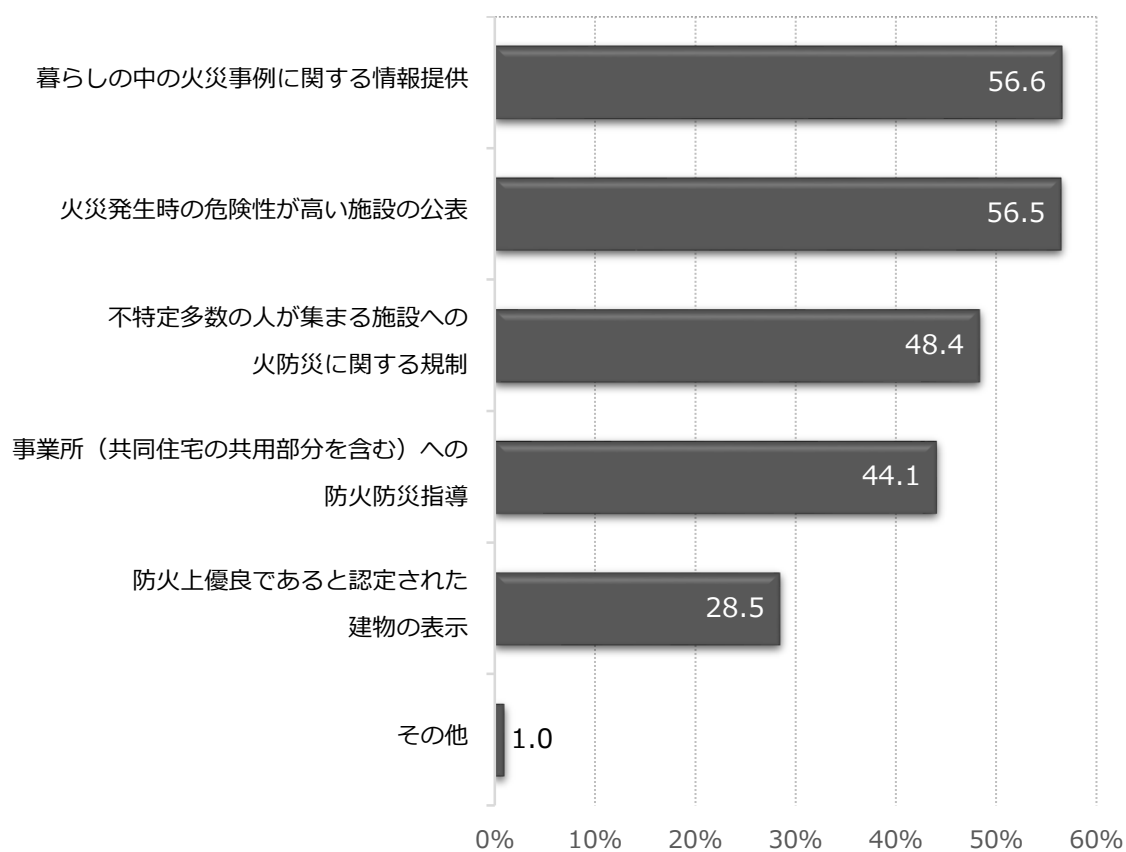
C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する東京消防庁の取組

	令和2年 (n=1,673)
地域における防火防災知識に関する普及啓発活動	59.2
高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動	53.8
地域における防火防災訓練指導	50.6
学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動	49.7
消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設の充実	12.3
その他	1.0



D 東京消防庁の火災予防に関する取組

	令和2年 (n=1,670)
暮らしの中の火災事例に関する情報提供	56.6
火災発生時の危険性が高い施設の公表	56.5
不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制	48.4
事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導	44.1
防火上優良であると認定された建物の表示	28.5
その他	1.0



## (7) 記述回答

ここでは、各設問の「その他」記述回答について、ご意見、ご要望、利用したご感想などを掲載する。

### Q 1 大きな揺れを感じた時の行動（その他内容） ..... 24 件

内容	件数
状況を確認する	6
情報を収集する	6
家具・家電をおさえる	5
家族の安否確認をする	4
その他	3

### Q 3 「家具類の転倒・落下・移動防止対策」を実施していない理由（その他内容） ..... 285 件

内容	件数
低い家具等には実施していない	92
先延ばし、忘れていた	40
賃貸・借家などで傷をつけることができない	28
あまりいることのない部屋だから対策はしていない	27
倒れそうな家具はない	25
自力での対策ができない	13
家具を配置しているところには危険がない	11
棚などは備え付けのため必要がない	9
建物の構造上対策が難しい	8
時間やコスト面で余裕がない	6
見た目が悪い	4
その他	22

### Q 4 救急車を呼んだ理由（その他内容） ..... 44 件

内容	件数
急病・異変・意識がなかったから	12
救急車を呼ぶほどのけが・病気だったから	7
救急車以外では無理と判断したから	5
交通事故等	4
かかりつけ医などから指示があった	4
当人に依頼されて	3
その他	9

**Q 6 救命講習の受講状況（その他内容）** ..... 27 件

内容	件数
会社	7
地域・町会など	5
自動車運転教習所	4
医療従事者のため習得	4
その他	7

**Q 7 救命講習を受けていない理由（その他内容）** ..... 75 件

内容	件数
高齢のため	16
講習日時や場所などがわからない	13
日程、日時が合わない	12
きっかけ、機会がない	11
身体が不自由、体調がよくない	8
その他	15

**Q 9 応急手当ができない理由（その他内容）** ..... 75 件

内容	件数
正しいやり方、正確な方法がわからない	34
講習内容を忘れてしまった	14
身体が不自由、体調がよくない	11
高齢のため	7
他人のことには関与したくない	3
その他	6

**Q 10 最近 1 年間で参加したことのある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベント（その他内容）** ..... 22 件

内容	件数
学校や地域での訓練	7
例年実施されているが、コロナのため中止になった	5
会社での訓練	4
消防団	2
その他	4

**Q11 防火防災訓練やイベントに参加したことがない理由（その他内容）** ..... 89件

内容	件数
身体が不自由、体調がよくない	21
きっかけ、機会がない	19
日程が合わない	18
高齢のため	11
開催情報がない	7
その他	13

**Q14 消防団の入団検討に必要な情報源（その他内容）** ..... 15件

内容	件数
年齢制限	4
活動に参加する自由度	3
身体、体力的なこと	3
女性の活動	1
活動の時間帯	1
その他	3

**Q20A 東京消防庁に力を入れて欲しい取組**

**火災などの災害に関する取組（その他内容）** ..... 19件

内容	件数
未然防止活動	3
情報発信	2
要配慮者等の見守り、救助対応	2
消防・防災訓練	2
感謝、すでに取り組んでいる	6
その他	4

**Q20B 東京消防庁に力を入れて欲しい取組**

**救急業務に関する取組（その他内容）** ..... 13件

内容	件数
救急車の救急外使用への対応(有料化など)	3
感謝、すでに取り組んでいる	7
その他	3

**Q20C 東京消防庁に力を入れて欲しい取組**

**都民のみなさまの防災行動力向上に関する取組（その他内容）** ..... 11件

内容	件数
防災行動向上のための情報発信	5
感謝、すでに取り組んでいる	1
その他	5

**Q20D 東京消防庁に力を入れて欲しい取組**

**火災予防に関する取組（その他内容）** ..... 14件

内容	件数
火災予防のための情報発信と注意喚起	4
耐火性の低い建物・場所の把握と規制等	3
火災予防機器の普及	2
感謝、すでに取り組んでいる	1
その他	4

**消防と関わった経験（その他内容）** ..... 109件

内容	件数
消防・防災訓練や研修・講習で関わったことがある	24
本人、家族、知人が消防官や消防団に所属している・していた	20
消防署見学会やイベントで関わったことがある	14
消防署の訪問・見回り・指導を受けた	8
仕事上で関わったことがある	7
防火管理者である（資格がある）	4
救急車に乗ったことがある	3
消防署が家や職場の近くにある(あった)	3
救急場面に遭遇した	3
消防博物館、防災館見学	3
救急事故で処置を受けたことがある	2
消防に関して相談したことがある	1
感謝する	2
その他	15